

サステナビリティ・コミュニケーション・ネットワーク 2024 年度活動計画

1. 2024 年度活動計画の基本方針

2024 年度（2024 年 4 月～2025 年 3 月）は、定例勉強会の開催については、2020 年 3 月の新型コロナウイルス感染拡大以降続いているオンライン方式に限らず、実会場での開催やハイブリッド方式での開催など、会員の皆様が参加しやすい方法について、状況を見ながら検討していきます。また、NSC ニュースの発行など、従来から取り組んでいる活動については継続してまいります。

定例勉強会については、これまでと同様、環境・CSR コミュニケーションに関する最新情報を紹介し、なかでも「サステナビリティ情報開示」および「気候変動・環境汚染・人権」を大きなテーマとして設定し、関連するサブテーマで企画し、会員の皆様が実務に反映させることができるよう目指します。

2. 2024 年度活動計画

（1）勉強会の開催

年度内に数回開催します。国内外の最新情報やグッドプラクティスを紹介するなど、会員の皆様のニーズに合った情報を提供します。

（2）幹事会プロデュース企画

幹事会のプロデュース企画として、タイムリーな話題を取り上げてシンポジウム/セミナー等を他団体と協力しながら開催します。

（3）大学生・大学院生と企業との環境報告書ステークホルダーダイアログの実施

大学生・大学院生と企業との環境報告書ステークホルダーダイアログの実施を検討します。NSC の学識者区分の会員となっている大学・大学院の教職員及び会員企業に対し、開催への協力を要請します。

（4）ニュースレターの発行

従来と同様、事務局を置く（一財）地球・人間環境フォーラム発行の月刊環境情報誌『グローバルネット』誌上に隔月（奇数月）、年 6 回にわたって NSC ニュースを掲載し、会員へ送付します。なお、情報誌は掲載月だけでなく毎月送付します。

（5）幹事会の定例開催

幹事会を 3 ヶ月に一度のペースで定例開催し、NSC の運営体制の強化を図ります。2022 年度からは企業会員からも幹事として参加いただいております。企業活動におけるニーズに応えられるような企画を目指しています。さらに、必要に応じて臨時の幹事会も開催し、意思決定体制を強化します。

（6）その他

NSC の活動と関わりの深い諸団体等との連携を深めます。諸団体の実施するイベント等に後援等の形で開催協力するとともに、それらのイベント等に NSC 会員が優先的に参加できるよう交渉等を行います。一方、NSC が実施する勉強会等についても諸団体からの開催協力を得られるように致します。

引き続き、環境監査研究会、環境経営学会、サステナビリティ日本フォーラムに広報や企画の協力を依頼します。